

公益大生と消防本部が 共同で行う消防イベント

J3 メンバー

金平 廉 中山 優大 内藤天凱 芳賀 宥 林 熙

構成

- 1.課題提供機関からの課題
- 2.その現状
- 3.イベントを行うメリット
- 4.私たちが考えるイベント
- 5.イベント内容
- 6.どのように人を集めるか
- 7.まとめ

1.提供機関からの課題

「公益大生と消防本部が共同で行う防火イベントや研修」

当組合では、消防フェスティバルや防火講話、救急講習などを行っているが、さらに防火について住民から理解を深めてもらい、参加を促進できるアイデアを探している。

2.現状

- ・ 毎年開催しているが、高齢の方や子供を連れた親子に人気である。しかし、中高生といった若い世代に人気がない。
- ・ どうしたら人を集めることができるか悩んでいる。
- ・ 消防車やはしご車といった実物を使うイベントは大変人気がある。
- ・ 女性向けのイベントをしたいと考えている。

3. イベントを行うメリット

- ・ 命の大切さを学べる。
- ・ イベントで学んだことを、緊急事態が起きた場合冷静に判断することができる。
- ・ 消防士がどんな仕事をしているかわかる。

4. 私たちが考えるイベント

- ・ 公益大のホールと南分署を使ったイベント

5. イベント内容

○対象者：中高生

- ・ ホールを使い防災についての講話と体験型ブースを設置する。
- ・ 公益大生が消防士についてのクイズをだす。
- ・ カ自慢対決(中高生、公益大生、消防士による懸垂対決。懸垂の回数で景品がある。)
- ・ 消防服を着てもらう
- ・ 消防士の日常についてスクリーンでビデオを上映する
- ・ 命の大切さを学ぶ
- ・ AED講習



<外での体験>

- ・ 南分署を使い、消防車・はしご車・救急車・救助工作車の展示をする。
- ・ 実際にはしご車に乗ってもらい高さを体験する。
- ・ 消防車や救助工作車の資機材を見る。
- ・ 防火服を着て、重さを体験する。
- ・ 放水を体験する。
- ・ 消火器の使い方について学ぶ。



体験型ブースの例

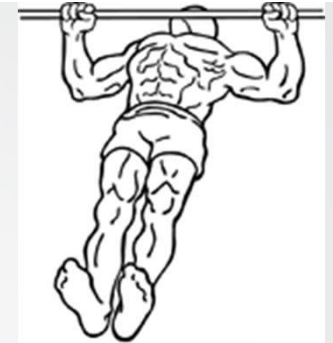


○ AEDの使い方講習

- ・ 公共の場で人が倒れていた場合に、AEDの使い方がわかるとその人の命を救うことができる。
- ・ AEDの使い方を理解することにより、自分以外に教えることができる。

○ 自然災害の恐怖についての講話

- ・ 自然災害はいつ起こるかわからない。そのために、何ができるか消防士の方と考える。
- ・ 自然災害がいつ来てもよいように、どんな準備をすればよいか考える。



○ 力自慢対決

- ・ 実際に懸垂をしてもらう。
- ・ 懸垂を30回した人には豪華な景品があり、30回に届かなくても回数に応じて景品が貰える。
- ・ 特に運動部と消防士の対決は面白いと思う。

○ 消防士が訓練しているところを公益ホールで上映する

- ・ 防火衣着装訓練、ロープ結索訓練、救出訓練、放水訓練、資機材取扱訓練、体力向上訓練、救急活動想定訓練、特別訓練(様々な災害に備えて行う訓練)などをビデオを上映する。

○ AED講習

- ・ 公共の場で人が倒れたとき、AEDの使い方がわかると救急車が到着するまでの間、心肺蘇生・AEDによる電気ショックをすることにより助かる命がある。

○ 命の大切さを学ぶ

- ・ ホールを使い消防士の方から命の大切さを学ぶ。
- ・ 自分の命を守るために、災害が起きたときにどのような行動をとれば良いか考える。
- ・ 私たちの命はかけがえのないものであり、一度失うと取り返すことができない。大切な人を失うことにより、その人の存在を実感できる。
- ・ 私たちの生活は健康で、ご飯を食べることができ、自分の好きなことができている。そしてなによりお金がある。その中で世界を見てみると、生きたくても生きることができない人がいる。また、病気によってなくなる人もいる。その中で生きている私たちは、精一杯生きていかなくてはならないことを考える。

＜中高生が帰らないために＞

中高生が飽きて帰らないように、各体験型ブースを体験した後スタンプを押してもらおう。3個スタンプを貰った人には景品が貰える。

→この効果として、中高生が飽きずに次々と体験型ブースを体験することにより、防災意識の向上・自分の身を自分で守ること、命の大切さを知ることができる。

- <時間>
- ① 10時から14時、10時から15時までのどちらか
- <昼食>
- 公益大生が消防士の方から消防飯を教えてもらい、消防士・公益大生・中高生と一緒にご飯を食べながら質問したりするなど、消防士について詳しく知ってもらいたい。
- ・ 消防飯は消防署の方に作ってもらい、レシピなども聞けるようにする。
(消防士の方に作ってもらうことに価値がある。)

消防飯事例



- 愛知県知多市 知多南消防署
 - ・ 隠し味多めのミートスパゲティ、あんかけチャーハン、ふわとろ親子丼
- 愛媛県西条市 東消防署・西消防署
 - ・ 生姜焼き、焼き鳥丼、冷やし中華、唐揚げ定食、キーマカレーなど

同じ釜の飯を食うことにより一体感が増すとされている。



<女性向けのイベント>

- 自然災害時に必要な防災グッズを作成してもらおう。
 - ・ 身近にある日用品で災害時に作っておくべきグッズを作成。
 - ・ 防災グッズを作成してあることにより、ケガを防ぐことや避難先での生活に役立てることができる。
- 筋肉が好きな女性の方が多くいると考えられるので、消防士によるボディビルを開催する。
- 女性の方にも使える消火器講習



<防災グッズ>

- ・新聞紙で作るスリッパ
- ・段ボールベッド
- ・キッチンペーパーで作るマスク

子供でも高齢者でも、工具なしでテープを貼るだけで

簡単に作れる。

段ボールベッドは男性1人で、1床15分～20分で完成することができる。

(この他にも身近なもので防災グッズを作ることができる)



新聞紙で作るスリッパ

避難所にたくさんの方が避難してきて、スリッパが足りません…… 新聞紙でスリッパを作りましょう!

準備するもの ●新聞紙

- 1 新聞紙1枚を折り筋に沿って、半分に折る。
※子どもの場合は、新聞紙半分サイズで作ります。
- 2 新聞紙を床に置いて、輪になっている方にかかとを合わせ、輪になっていない方をつま先の方に折る。
- 3 折り曲げた方を2センチほど外側に折り返す。
- 4 裏返して、折っていない面を表に横長にして置き、左右半分に折って折り筋をつける。
- 5 左右中央まで、右側と左側から折る。
- 6 左側の破綻になっている部分に、○と○の角が合うように右側の上部を折りこ込む。
- 7 点線の部分を斜めに折って、内側に折り込む。
- 8 四つの角を内側に折り込むと、**できあがり!**

※スリッパの履き心地を試せるボードを作ってみましょう。ペットボトルの芯などの平らな面を段ボール箱にたくさん貼りつけます。スリッパを履いて、履かないで、ボードの上を歩いて比べてみましょう。

広く知られている作り方をセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンがアレンジしました。 発行：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

Save the Children JAPAN

6.どのように人を集めるか

- SNSを使い市民に知ってもらうために、消防士の日常をアップロードする。
- YouTubeを使い、酒田市消防本部で行われていることを動画にしてアップロードする。
- 各中学校・高校にイベントを開催する内容をまとめたポスターを作成し、掲示してもらう。学生にはA4版のポスターと当日使うスタンプカードも一緒に配ることにより、イベントに行きたいという気持ちになると思う。
- 公共施設等にポスターを掲示してもらう。
- イベント内容を動画にし、それをビデオにまとめ中高生に見てもらう。(学校にあるスクリーンや学校にあるテレビで見ってもらう。)

7. まとめ

- ・ 防災意識が今まで以上に向上する。
- ・ 自分の命を守るために常日頃からなにをすればよいか考えることができる。
- ・ イベントで学んだことを家族や友達に教えることができる。
- ・ AED講習を受けることにより、助かる命を助けることができる。
- ・ 緊急事態や自然災害が起きたときに慌てずに判断・行動ができる。



参考文献

- 愛知県知多市 知多南消防署

[消防飯|消防本部の紹介|知多南部消防組合ウェブサイト \(tac-net.ne.jp\)](#)

http://chitanan.tac-net.ne.jp//o_firefighter_meal.html

- 愛媛県西条市 東消防署・西消防署

[消防メシ～早い・安い・旨いへの挑戦～ 目次 - 西条市ホームページ \(city.saijo.ehime.jp\)](#)

<https://www.city.saijo.ehime.jp/site/shobo/shobomeshi.html>

- [避難生活で役立つ！身近な日用品で簡単に作れる防災グッズ - itwrap \(uf-polywrap.link\)](#)

<https://uf-polywrap.link//articles/RyQY3>

・ [第33回 段ボールベッドの作り方 | Jパックス株式会社 \(jpacks.co.jp\)](#)

<http://jpacks.co.jp//archives/492>

[セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン - 子ども支援専門の国際NGO団体 \(savechildren.or.jp\)](#)

<https://www.savechildren.or.jp>